

危機管理体制をどうする

町長 効果的な情報伝達を検討したい



録画を配信

給水制限時の対応の検証と課題

問 情報共有と伝達など危機管理の課題を踏まえた検証はどうだったのか。

町長 原因特定に時間を要し、職員への詳細情報の伝達が困難だった。

反省を今後の対応に生かし、効果的な情報伝達の在り方を検討していきたい。

総務課長 情報ツールの活用などで現場の状況も把握しながら、効果的な対応ができるよう訓練をしていきたい。

地域連携と公共施設の活用

問 緊急時の地域コミュニティとの連携や公共施設の運用、既存インフラの活用はどのように考えているのか。

町長 コミセンや地域の方々から自主的なご協力いただいた。

これらの課題はコミセンから意見をお聞きしながら二つ三つ解決する努力をしていきたい。

総務課長 来るべき災害への備えが突発的な事案に対しても生きてくるのか、それらを踏まえた適切な対応が出てくる。どのような異常な事態を想定するかというところは今後考えていきたい。

要配慮者への支援体制

問 個別避難計画対象外の歩行困難者や外国人を含む地理不案内者などの要配慮者への支援体制をどうするか。

総務課長 日中の高齢者のみの世帯など、人の手助けが得にくいような方々を要配慮者と考えている。それ以外の方は、周りの方やご家族の協力をお願いしながら対応していくことと思う。

庁内連携と情報伝達手段

問 各課・部署間における情報共有と管理指示系統の在り方についての課題は何か。

町長 本事業に関して危機管理体制として、事態の進捗に合わせ対応を行ったが、特に情報を正確に早くお伝えする方法や、直接町民に対応する職員との情報共有について今後の大きな課題と捉え対応していきたい。



いぶくろ まさと
衣袋正人 議員



私もひとこと

「自分のことは自分で」と言われても足腰弱ってきて、なかなか出来ねなよなあ。
(80代女性)



水を求めて長蛇の列